（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス羽ばたき				
○保護者評価実施期間	令和7年　11月　15日		～	令和7年　12月　25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	19人	（回答者数）	14人	
○従業者評価実施期間	令和7年　11月　15日		～	令和7年　12月　25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10人	（回答者数）	10人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　1月　27日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員の配置数を多くしており、1人1人に対する療育が適切に行う事が出来る。	日常的な生活動作を身に付けてもらえるように意識をして、集団遊びや行動等の取組みを行っています。	今後、療育を充実させる為に、職員同志が対話する時間を増やし、方法を熟成させプログラムの質を向上させたいと思います。
2	保護者様のお声に細かく対応が出来ていると思います。	モニタリング時のみならず、送迎時又は電話・LINE等にて常時気軽にお声を聞く工夫をしています。	今後は保護者様とのより一層の繋がりと、又保護者様同志が繋がれるように保護者会等の充実を図りたいと思います。

3	事業所の敷地面積が広く、庭園もある為、お子様たちが伸び伸びと過ごせると思います。	事業所内を広く使った集団遊びや催事、又は庭園にある築山を使った遊びな等の工夫を行っています。	今後とも職員間で協議をして、訓練室の広いスペースと園庭を活用し、地域交流が出来る場にしていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会議等にかける時間が少ないと思われる。	療育に目一杯時間を当てている為、時間的な余裕が無くなっている。	療育の時間を確保しつつ、職員間で情報の共有を伝達していく工夫をする。
2	地域交流等の実現。	町内会・子ども会等に出向く時間が確保できない。	人員を更に確保し、時間に余裕を持たせ様々な催し等に出向く工夫をする。
3	運動療育のプログラム等を充実させること。	運動学・解剖学的な知識を持つ人材が存在するが、時間的な制約があり実現出来ていない。	研修等により、知識や療育方法を他の職員に伝え、実践出来るように工夫する。